

「汗かく体育」と「体力名人」の取り組みによる 運動好きな児童の育成

大分県 大分市立 豊府小学校

全校児童数	941名(男子507名 女子434名)		
全クラス数	33	教職員数	53名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	大分市立 南大分小学校		
体育専科教員名		佐藤 充	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆昨年度、「運動が好き」と回答する児童の割合が8.6%

・目標の9.0%に達していない。一人あたりの運動スペースと十分な運動量を意識した授業を全職員で進めていく必要がある。

◆毎月の「体力名人」の取組に対して、学級ごとに大きな差が見える。学校全体の取組にまでなっていない

・「体力名人への取組期間中、取組への励ましや声かけを毎日行う」と回答した教職員の割合が昨年度6.8%と低かった。全職員での取組へと広げていく必要がある。

2 取組の計画

- 30分以上体を動かす授業を「汗かく体育」とし、全職員で運動量を確保した授業を実践。
- 「体力名人」の取組として毎月体育目標を設定し、学校と家庭が一体となって体力向上と運動の日常化を目指す。

Do：実践内容

1 「汗かく体育」で運動好きな子に

(1) 運動量の確保された体育授業へ

・体育の副読本や学習カードを活用し、児童に明確な課題を持たせるようにした。また、複数の場を設定し、一人あたりの運動スペースが確保された授業につなげていけるようにした。

(2) 体育専科による体育実技研修・授業公開を通して「汗かく体育」の授業イメージを共通理解する

・「汗かく体育」を進めるうえで必要な場、道具、授業づくりの工夫を、実技研修や公開授業をもとに学ぶ機会を毎学期設定した。

2 「体力名人」の取組で運動の日常化へ

(1) 毎月の体育目標の設定

・毎月体育目標を設定し、学校と家庭が一体となって目標を共有して取り組んだ。また、継続して取り組めた子には「努力賞」を認定し、「努力賞」達成を一番価値あるものとして学校全体で取組を進めた。

(2) 家族でいっしょに「体力名人」へチャレンジ

・保護者に向けて「体育通信」を発行し、学校と家庭が体育目標の達成に向けて一体となって取り組めるよう情報を発信した。

●工夫したこと（&苦労した点）

- T1とT2の動きが見える学習の流れを毎時間作成し、役割や見通しをもって進められるようにした。
- 毎月の体育部会で「体力名人」の認定基準や進め方を話し合い、全職員で共通理解できるようにした。
- 体力名人の「努力賞」達成割合の目標値を7.0%以上と設定し、毎月の結果を全職員で共有した。
- 体育通信で具体的な取組の様子を発信し、取組を家庭に広げていった。

Check：取組の成果

- 「運動好き」と回答した児童の割合が昨年度8.6%から9.0%に上昇（全校児童対象のアンケート）。
- 「体育の授業は楽しい」と回答した全校児童の割合が9.0%から9.3%に上昇。
- 体力テストの全国平均達成率が8.9%から9.2%に上昇。
- 「30分以上体を動かす汗かく体育を実践できた」と回答した職員の割合が7.1%から9.1%に上昇。
- 「毎月の体力名人への取組期間中、取組への励ましや声かけを毎日行った」と回答した職員の割合が6.8%から8.7%に上昇。

アンケート結果から、「運動好きな児童の育成」に向けて職員全体の意識が大きく高まってきていることが分かる。ここが一番の成果と捉えている。

Action：今後の課題

- 体育に関する研修や授業公開の機会を今後も位置づけ、「汗かく体育」につながる場・道具・授業づくりの工夫への理解を全職員で深めていく必要がある。
- 大規模校のため、一人あたりの運動スペースの確保が難しい。体育館やグラウンドの使用割の工夫、教育課程の時期の見直し等を進めていく必要がある。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

◆ 体力向上が進めば、学力も伸びる！

・十分な運動量を確保し、児童にとって満足度の高い体育授業を進めることができれば、その後の学習に落ち着いて取り組むことができる。結果として、体力向上が進めば学力向上にもつながっていく。

運動好きな子どもを育てるために

①「汗かく体育」を全校で

30分以上運動する
運動量が確保された体育授業



②教育課程をバランスよく

○ 1時間2領域の考え方で授業展開

	5月	授業の導入	授業の展開
体育館		上体起こし か 反復よここび	マット運動へ
グラウンド		50m走	リレー ハードル走へ

③体力名人で運動の日常化

学校と家庭が一体となって
運動機会をつくりだす



<体力名人の取り組みの様子>



てっぽう名人



のぼりぼう名人



うんてい名人



なわとび名人

<家族といっしょに体力名人>



月の体育目標



家庭に配布する体育通信



家族と一緒に体力アップカード

<見えてきた成果>

二学期末の全校児童対象アンケートより

「体育好き」と回答した児童の割合(男女合算)

88%(1学期末) ⇒ 90%

「運動好き」と回答した児童の割合(男女合算)

90%(1学期末) ⇒ 93%

運動量の確保された「汗かく体育」は
児童の満足度が高く、
「体育好き」「運動好き」な児童を育てる

新体力テスト	全国平均以上の 達成割合(%)
H23年度	13.5%
H24年度	27.0%
H25年度	43.7%
H26年度	50.0%
H27年度	62.5%
H28年度	89.5%
H29年度	91.6%